

10年後の目指すべき姿

地域活動の担い手となる人材が育成され、活動主体同士による連携も深まっており、地域の主体的な活動が活発化しています。また、多様化する地域課題の解決への行政による支援体制も充実しており、地域マネジメントが推進されています。さらに、地域特性に合わせた除排雪や、雪と共存した札幌らしい冬の暮らしが実現しています。

<主な取組>

① 地域活動を活発化する環境づくり

●まちづくり活動の担い手となる人材を発掘・育成します。

- ・地域コミュニティの中心的組織である町内会への加入を促進します。
- ・学校と町内会などの連携による子どもの地域活動への参加を促進します。
- ・生涯学習と地域のまちづくり活動とのマッチングなどに取り組みます。



●市民の居場所・活動拠点づくりを推進します。

- ・地域活動の場として、空き家や空き店舗などの活用を支援します。

② 地域マネジメントの推進

●まちづくりセンターなどによる支援・調整機能を強化します。

- ・まちづくり協議会などへの参加団体の多様化に取り組みます。
- ・活動主体への行政情報や統計データの提供など支援の充実を図ります。

●地域マネジメントを推進します。

- ・区民協議会やまちづくり協議会などの活性化を図ります。
- ・地域の身近な行政機関である区役所の機能・役割の在り方を検討します。



③ 雪と共存した暮らしの推進

●地域特性に合わせた除排雪を推進します。

- ・地域の懇談会や小中学校での出前授業などにより除排雪への理解を促進します。
- ・福祉除雪の地域協力員の確保や企業・団体などによる協力を促進します。
- ・高齢化や人口減少を踏まえた除雪の在り方について市民議論を進めます。

●雪と共存した冬の豊かな暮らしを実現します。

- ・スキー指導者など地域の人材を学校などに派遣する取組を推進します。

